

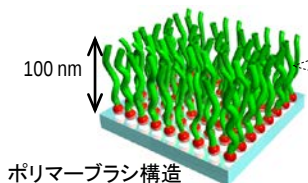
ポリマーブラシ薄膜による表面改質 防汚・接着・摩擦・親水化

小林 元康 先進工学部 応用化学科 教授

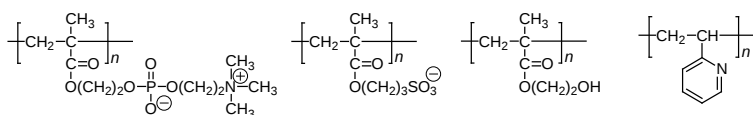
キーワード: 防汚性、親水性、異種材料接着、低摩擦・潤滑表面、海洋生物汚損、生物模倣

概要

表面にポリマーというひも状の分子を密集して生やすと、ブラシ状の薄膜(膜厚100 nm前後)ができ、これをポリマーブラシという。イオン性基を結合したポリマーブラシの表面は、超親水性を示すとともに濡れ性が向上し、水中で油汚れをはじいたり(防汚性)、生体適合性を示したり、低い動摩擦係数を示す(潤滑性)ようになる。また、ブラシ表面同士を貼り合わせると接着し、条件を変えると剥がすこともできる。このポリマーブラシは様々な分野への応用が期待されている。



ポリマーブラシ構造



アピールポイント

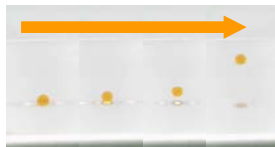
ガラスやシリコンの他に、ステンレス、アルミナ、チタンなどの金属、ポリエチレン、ポリカーボネート、ポリ乳酸、ナイロン、ABS樹脂、ポリアミドなどの高分子材料、木材や繊維表面にもポリマーブラシを調製でき、表面改質を施すことが可能である。また、シリカ微粒子などの粒子にポリマーブラシを付与することで分散性や相溶性の向上を図ることができる。

利用・用途 応用分野

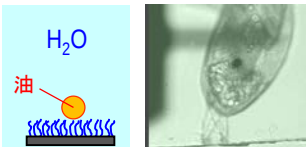
超親水性表面



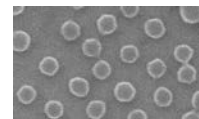
水中防汚性



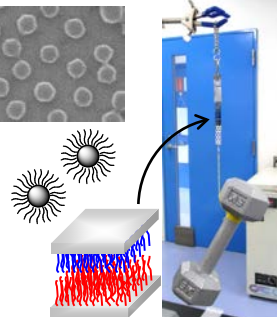
海洋性付着生物忌避



微粒子分散



ブラシによる接着



気泡のつかない表面



生物模倣表面



電化製品の
防汚処理



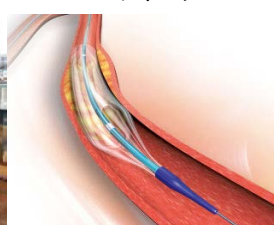
太陽電池表面
の防汚処理



フジツボ付着抑制
船底塗料



カテーテル表面
のコーティング



水潤滑と人工関節



関連情報

- 知的財産権 = 特願2011-545211, 他.
- 関連論文 = M. Kobayashi et al., *Langmuir* **34**, 10276-10286 (2018). *Polym. J.* **50**, inpress (2018). *Polymer* **119**, 167-175 (2017). *RSC Adv.* **6**, 86373-86384 (2016). *Polymer* **89**, 128-134 (2016). *Langmuir* **28**, 7212-7222 (2012). *J. Biom. Sci. Polym. Ed.* **25**, 1673-1687 (2014). *ACS Appl. Mater. Interfaces* **6**, 20365-20371 (2014).
- 関連 URL = <http://www.ns.kogakuin.ac.jp/~wwa1069/index.html>
- メディア関連 = NHK総合「凄ワザ! : 汚れないまな板」2017年1月14日20:15-20:45放送